

第 32 回児童福祉審議会議事録

日 時 令和 5 年 6 月 15 日(木) 10:00 ~ 10:40

会 場 横須賀市役所 5 階 正庁

出席委員 - 井上亮子、岩波啓之、織田俊美、岸川洋治、木津りか、久保山茂樹、白井幸江、新保幸男、高島洋子、高藤杏花、谷英明、玉川淳、永松範子、橋本陽子、原田修二、星野洋司、松本敬之介、宮田丈乃、吉田尚子、渡邊康乃

欠席委員 - 菊池委員、小賀坂委員、五本木委員、澁谷委員、富澤委員、福士委員、村田委員、毛利委員
(五十音順、敬称略)

事務局 - 民生局	平澤局長
福祉こども部	藤崎部長
子育て支援課	有川課長、田中課長、篠崎課長補佐、澤村主査、市原主任 新谷主任、市川
こども家庭支援センター	櫻木センター長
こども家庭支援課	山田課長、渡邊係長、古澤主任
こども給付課	佐藤課長
児童相談課	深井課長
健康管理支援課	出石課長
地域健康課	河島課長
保健所企画課	長谷川課長

傍聴者 6 名

1 開 会

会議定足数報告

本審議会委員 28 名中、半数以上となる 20 名出席のため、児童福祉審議会条例第 5 条第 3 項「委員及び臨時委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない」に基づき、本審議会は成立したことを報告。

2 諮問書交付

議案第 1 号 市町村子ども・子育て支援事業計画の策定について

議案第 2 号 社会的養育推進計画の策定について

上記 2 議案につき、上地市長から新保委員長へ諮問。

3 上地市長あいさつ

4 議 事

- (1) 市町村子ども・子育て支援事業計画（横須賀子ども未来プラン）の策定について
- (2) 社会的養育推進計画の策定について
- (3) 「子どもの権利を守る条例」に基づく施策の進行管理について

5 報告事項

- (1) 令和 4 年度 横須賀市児童相談所の相談受付状況について

6 その他

【審議結果】

- (1) 市町村子ども・子育て支援事業計画（横須賀子ども未来プラン）の策定について、子ども・子育て分科会に付託した。
- (2) 社会的養育推進計画の策定について、子ども・子育て分科会に付託した。
- (3) 「子どもの権利を守る条例」に基づく施策の進行管理について、子ども・子育て分科会に付託した。
- (4) 報告事項について了承された。

【質疑概要】

議事（ 1 ）市町村子ども・子育て支援事業計画の策定について

- 現行計画である「第 2 期横須賀子ども未来プラン」が令和 6 年度で終了するため、次期計画（令和 7 ～ 11 年度： 5 年間）の策定を行う。

（谷委員）

令和 4 年度開催した子ども・子育て分科会で議事録が作成されていない会が 2 回あり、横須賀市のホームページにも掲載されず、ホームページ自体も中途半端な状態で放置されている。この後の分科会で、第 2 期横須賀子ども未来プランの進行管理について審議することになっているが、昨年 7 月の第 31 回分科会の議事録を確認することができない。議事録が作成されていないのか、ホームページに掲載されていないだけなのかわからないが、次期子ども未来プランの策定について審議をするのであれば、その前に必ず議事録を作成して、ホームページに掲載してもらいたい。市民もホームページの議事録を読んで、どんな事が検討されているのか知ることができる。ホームページは中途半端な状態ではなく、議事録を添付し、しっかりとしたものにしてもらいたい。

また、全体会や分科会において、よく「確認します、調べます、検討します」という回答ですませ、その後対応しない職員がいる。令和 2 年 7 月 9 日開催第 29 回子ども・子育て分科会の議事録では、こちらの質問に対し「確認します、調べます、検討します」と回答したのについて、議事録の補足資料として添付されていた。今後も同じように対応していただきたい。

（事務局）

委員からご指摘のあった議事録については、ただいま確認中のため、ホームページには掲載できていないのが現状である。至急本日の分も含めて確認後、ホームページ等にあげさせていただきたいと

思う。ホームページについては全体をリニューアルした関係もあり、見やすいようなホームページ等を確認しながら更新させていただきたいと思う。

(谷委員)

昨年の7月21日に第2期横須賀子ども未来プランについて審議してから、1年経過しているが、まだ、議事録ができていないというのはどういうことなのか正直疑問に思う。ホームページは今のままではみっともないので、早急に更新したほうがよいと思う。

(事務局)

昨年度開催した議事録がホームページに掲載できていないことについて申し訳ない。至急対応したいと思う。

また、今後、委員からいただいた質問に対し確認・調査・検討しますと回答したのについて、その後の結果や、どのように回答したのか等について、今後は議事録として残す形で考えていきたいと思う。

議事(2) 社会的養育推進計画の策定について

- 横須賀市社会的養育推進計画(前期 平成27~31年度・中期 令和2~6年度・後期 令和7~11年度)の後期計画の策定に向けた見直しを行う。

意見なし

議事(3) 「子どもの権利を守る条例」に基づく施策の進行管理について

- 本条例第19条(児童福祉審議会への報告)に基づき、市長は施策の推進状況を審議会に報告し、審議会は評価及び検証を行う。

(織田委員)

資料7を見ても虐待が増えている中で、もう少し踏み込んだ対策を考える時期にきているのではないか。

(事務局)

資料7に記載のあるとおり、毎年少子化にもかかわらず、虐待の件数が伸びている。それだけ子ども一人ひとりに地域の目があり、地域の皆様にしっかりみていただいているので子どもの虐待について警察に通報が入ることだと思う。子どもの権利を守る条例にあるように今後市として子どもたちに不利益が生じないように、より一層努めていかなければならない。虐待件数を減らすのはなかなか難しい状況ではあるが、子どもが安心して生活できるよう子どもの権利を守る条例を推進していくよう取り組んでいかなければならないと思っている。

(織田委員)

町内会の会議に出たときに、近所の家から子どもが泣いている声が聞こえても、虐待されて泣いているのか、違う理由で泣いているのが判別できないという話があった。そのため、我々としては、その家に言いにくい、他人が立ち入りにくいという話を聞いた。判断ができないため一歩引いてしまい、本来

通報案件だったものも見逃されてしまう可能性がある。地域の近隣住民が立ち入りやすい法整備がされしっかりとした仕組みができれば、行政や警察でなくもっと身近なところで防げる可能性もあるのではないか。そういったことも考えていただけるとありがたい。

報告事項（１）令和４年度 横須賀市児童相談所の相談受付状況について（速報値）

（谷委員）

この表は何を表したいのか、今の表では年度の件数を比較するにしても一つ一つの項目を比較しないとわからない。例えば１ページ目は、年度ごとに円グラフで種別の割合を色別で表示し、過去３年分を並べて比較した方がわかりやすい。裏面の「虐待に分類されたものの内訳」についても、身体的虐待など項目ごとに年度の色を変えた２本の棒グラフにすると項目の比較や年ごとの増減傾向等が視覚的にわかりやすいのではないかと。数値の表記だけでなく、内容によって増減がわかりやすいように工夫していただくと皆さんにも伝わりやすいのではないかと。

また、相談件数の増加について、警察からの通報件数の増加が１つの要因とのことだが、そういったコメントも載せていただきたい。全国平均との比較や、他の中核市はどうか、そういった情報もあるとより助かるのではないかと。

（事務局）

毎年児童相談所で事業概要というものを作成しており、そこにはこの相談受付状況が数字だけでなく、色のついたグラフ等で業務実績を記載している。今回は、昨年度の速報値、ということでこのような形での記載をしているが、確かに、数字だけでは伝わりにくいところもあるため、より皆さまに伝わりやすい方法があれば、もう少し改善できるところについて、検討していきたいと思う。

（松本委員）

先ほどと同じような意見となるが、２ページ目の内容別件数を、棒グラフのような方法で、学齢別件数の乳児や幼児ごとに書いてもらうとよりわかりやすい内容になるのではないかと。

*この議事録は、委員等の発言を事務局において要点筆記したものです。

以上